



一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会
事務局 東京都文京区関口1-45-15-104
☎ 03-5227-3716 Fax 03-3260-4906
URL <https://www.healthcare.gr.jp>
E-mail : center@healthcare.gr.jp
編集代表 林 浩司
編集制作 有限会社 秋 編集事務所

	年会費	入会金
歯科医師	12,000円	5,000円
スタッフ/その他	3,000円	3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 江戸川橋支店
普 0051809
名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会



CONTENTS

巻頭 ヘルスケアミーティング2024 1日目の メインテーマは歯周基本治療	p.1	報告 認定分科会の登録却下に対して	p.14
事務局から/「根面むし歯の診査表」頒布開始案内	p.2	新入会音信/マー君の enjoy my life	p.16
Webセミナー紹介/令和6年能登半島地震 義捐金の報告	p.3	復活!! The HyG Times/ウェビナー告知板	p.17
HDPを深掘りしてみよう座談会1	p.4	ウェビナー報告	p.18
フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】15	p.7	オンラインサロン紹介	p.19
修復物サバイバルレポートプロジェクトの活動報告	p.8	第7期第3回オビニオンメンバー会議報告	p.20
ヘルスケア歯科診療について藤木が伝えたいこと2024	p.10	ヘルスケア・フォーラム	p.23
新フォーラムの紹介/告知板	p.11	Healthcare bibliography/Webセミナー案内	p.26
大阪ワンデーセミナー2024 案内/書評	p.12	第17期歯科衛生士育成プログラムのご案内/ 認定歯科衛生士のみなさまへ	p.27
SSDのすすめ	p.13	ヘルスケアミーティング2024 案内	p.28
Vimeo案内	p.13, 25		

催しものご案内

- ① 東京ワンデーセミナー2024
日時: 2024年5月19日(日)
場所: 日本歯科大学 東京キャンパス
- ② 歯科衛生士新人初期研修2024
日時: 2024年5月21日(火)~
- ③ 新オンラインサロン
日時: 2024年5月14日(火)
2024年6月11日(火)
2024年7月9日(火)
- ④ ヘルスケア Web セミナー
日時: 2024年5月15日, 6月19日
内容: コミュニケーションセミナー
プレミーティング in オンライン
日時: 2024年6月2日(日)
内容: 歯科衛生士も知っておきたい全身
管理の基本
- ⑤ 大阪ワンデーセミナー2024
日時: 2024年9月1日(日)
場所: 大阪歯科大学 100周年記念会館

重要なお案内

- 以下の同封物をご確認ください
1. 2024年度会費振込用紙
2024年度会費未納の方に同封して
います。行き違いになりましたら、
ご容赦ください。
 2. 企画頒布品ガイド
 3. 根面むし歯の診査表 見本
 4. 大阪ワンデーセミナー2024 案内



ヘルスケアミーティング2024 1日目のメインテーマは 歯周基本治療

千草隆治 (コアメンバー)

みなさん、最近ヘルスケアミーティング(以下HCM)に参加していますか? HCMとは年に一度の当学会のシンポジウムです。毎回参加される人、興味があるテーマのときは参加される人、最近あまり参加されていない人、ニュースレターは読むし、地方会には出るけど一度もHCMに参加したことのない人などさまざまでしょう。参加している人は満足して帰路についていますか? 参加したことのない人はその理由は何ですか?

ちょっと昔話から

少しだけ昔話を。私は1998年のヘルスケア歯科研究会発足集会から参加している、いわゆる98年組です。もちろん当時は普通の会員で、福岡からスタッ

フを連れて参加していました。誰に紹介されたわけでもなく、雑誌に掲載された症例報告を目にしてヘルスケア歯科診療に魅了され勝手に入会しました。会員名簿では九州の先生はたくさんいたし、顔見知りの先生も何人もいましたが、HCM(当時はシンポジウム)で会ったことはまったくありませんでした。基本的に人見知りなので、会場で知り合いをつくることもできませんでした。それでも会場にいる見知らぬ大勢の人たちみんながヘルスケア歯科診療を正しいと思い、目指しているのだと思うとワクワクしたものでした。そして帰り道では、帰ったら何を始めようか、アレをやれば本当にあなれるのか...など、細い目をキラキラさせながら同行したスタッフと熱く語り合ったものでした。月日は過ぎ、いつ

の間になぜか HCM を企画する側になってしまったからは、HCM 後は、参加者は満足しているのかなあ、とか、みんなが聞きたいこと、イヤ、みんなが必要とするものはなんだろうかと考えることが増えました。

ワクワクするヘルスケアミーティング！

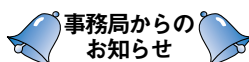
そして今年、今年は参加したみなさんがワクワク、キラキラできる HCM になります。その根拠は、発表者の面々もそうですが、なによりテーマです。歯周基本治療はヘルスケア歯科診療を行ううえで日常的な診療行為であり、新人もベテランも普通に行っている医療行為です。新人は一人前になるにはどうすれば？ ベテランはもっと高みにいくにはどうする？ そう、基本がまず重要でしかも基本がなくては先に進めないのです。歯周基本治療はヘルスケア歯科診療の出発点でもあり着地点でもあるのです。「初期・中等度の歯周炎を治癒に導き管理する」というヘルスケア歯科診療の目標の中の「治癒に導く」と「管理する」の両方に必要不可欠なスキルが歯周基本治療なのです。さらに、このスキルを極めることで重度歯周炎にも対応できる可能性がみえてきます。もちろん、歯周外科や再生療法も必要に応じて行うことはいうまでもありません。今回このテーマの基調講演として登壇いただくのは藤木省三さんです。HCM では久しぶりの講演ですが、大西歯科での今までの経験をあますことなくお話しいただくとともに、各論と症例を発表していただく布陣も大西歯科メソッドの実行者ばかりです。さあ、この機会と一緒に学びましょう。とくに、これから取り組もうと考えている方には絶好のチャンスです。

考えるきっかけとなるヘルスケアミーティング！

歯周基本治療の大切さもヘルスケア歯科診療のことも全部わかっているけど実行に移せない、あるいは実行したけどイマイチうまくいかないという方、何が必要なのでしょう？ それは、自分たちで考えて納得して実行するということではないでしょうか。個々人だけではなく診療室全体で考え、それを共有したうえで方向性を決めて実行し、新たな問題が発生したときやステップアップの時期がやってきたときには、診療室全体で考えて方向を決めるということを、繰り返してこそ目標に近づけ、目標を達成できるのではないのでしょうか。

今回の HCM 2024 1 日目の最後には、参加者みんなで考える時間を設けました。基調講演をはじめとする前半の講演は参加者みんなで考えるためのきっかけです。この時間が、診療室でのスタッフ全員で考えるヒントとなることが、今年の企画の目標です。そんなことを楽しみに、ぜひ会場に足を運んでみてください。

HCM は私たち会員がヘルスケア歯科診療に対するモチベーションを維持向上するためのメンテナンスのようなものだと私は思っています。定期的に通ってください。そしてみんなで考えて決めたことを実行に移してください。1年間頑張った結果を来年持ち寄りもう一度みんなで考えましょう。来年のメインテーマも引き続き歯周治療を予定しています。繰り返しますが、今年はきっかけづくりです。立ち位置はそれぞれですが、みんなで一緒に高みを目指してスタートしましょう。



健康手帳予約カード 頒布終了のお知らせ

健康手帳の予約カードは 2024 年 3 月末にて、在庫がなくなりましたので、頒布終了とさせていただきます。ご了承ください。

送料改定のお知らせ

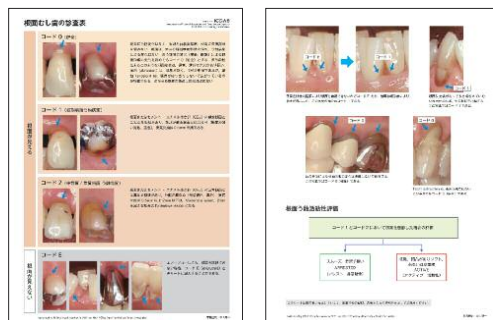
2024 年 5 月 1 日より一部の頒布品にかかっております送料を 500 円から 750 円に改定させていただきます。なお、学会ホームページからのオンライン購入は、今までどおり、送料無料で頒布いたします。



**『根面むし歯の診査表』(2024.5.1 頒布開始)
(ROOT Caries ICDAS-criteria)**

前号 (vol.27 no.1) にて完成報告しました『根面むし歯の診査表』日本語版を 2024 年 5 月 1 日より頒布いたします。すでに多くのみなさまに活用していただいている『むし歯/エックス線写真診査表』と合わせて、臨床現場にてお役立てください。

A4 ラミネートパウチ (送料込み)
会員 1 セット 5 枚 1,000 円 非会員: 1 枚 600 円



※見本をこのニュースレターに同封しました

セミナー
紹介

受付中

「歯科衛生士も知っておきたい全身管理の基本」

2024年6月2日(日) 10:00~12:00 Zoom ウェビナー

(講演 90分・質疑応答 25分 予定)



パネリスト：左合徹平（九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野 助教）

参加費：3,000円（要 Zoom 登録）※会員特典 1カ月のアーカイブ配信有り

参加資格：会員・非会員問わず

定員：100名

お申し込みは
こちらから



<https://healthcare.gr.jp/?p=22727>

抄録（概略）

近年、医療の発展やヘルスケアに対する意識の向上にともない、日本人の平均寿命は延長している。このことは、従来では歯科診療を受けることができなかった有病者や超高齢者を診察する機会が増加していることを示しており、歯科診療における全身管理の重要性は増してきている。「全身管理」と聞くと少々敷居が高く感じる方もいるかもしれないが、歯科治療時の全身管理において、高度な知識や技術は必ずしも必要ではない。必要なのは歯科治療を受けている患者の状態を把握し、患者の全身状態の変化や異常に気づき、対応するための「基本的な」知識で、それらを歯科医療に携わる全スタッフが共有していることが重要である。患者の全身状態の把握にはバイタルサイン（血圧・脈拍・呼吸・体温）や動脈血酸素飽和度（SpO₂）などの生体情報が必須である。

本講演では患者の全身状態の把握に必須のバイタルサインをはじめとする生体情報の測定法と正常値について学習し、歯科治療時に生じる偶発症やよく遭遇する疾患とその対処法について学ぶ。

【略歴】

2007年 九州歯科大学歯学部卒業
2012年 九州歯科大学大学院歯学研究科修了
2012年 九州歯科大学歯科侵襲制御学分野 助教
2021年 Aarhus 大学 Orofacial Pain and Jaw Function 客員研究員
2022年 九州歯科大学歯科侵襲制御学分野 助教

【所属学会】

日本歯科麻酔学会（専門医）
日本口腔顔面痛学会（専門医）
日本障害者歯科学会（認定医）

令和6年能登半島地震 義捐金募金のご報告

令和6年能登半島地震災害で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

なお、カーム歯科医院は4月11日から診療を再開されたとのことです。

当学会では1月9日以降、ホームページに義捐金募金のオンライン決済ページを設置して募ってまいりました。

3月末日までに合計255,000円の義捐金をお預かりしました。有志のみなさまからお寄せいただいた義捐金は会員の中谷静子さん（カーム歯科医院・石川県珠洲市）へ4月9日にお届けいたしました。

みなさまのご支援に心から感謝いたします。

募金者一覧（敬称略・募金日順）

谷藤奈恵子 吉田幸司 高橋 啓 渡辺 勝 杉山精一
滝沢江太郎 島野圭介 上田康弘 千草隆治 林 浩司
古市貴暢 丸山和久 宇田川義朗 関 陽介 加藤久尚
岡本昌樹 小林加枝 田中勝幸 鈴木正臣 瀧谷庸子
有賀 進 齋藤 健 秋元秀俊

HOME DENTIST PROFESSIONAL を 深掘りしてみよう座談会 (1巻 Case17 から)



藤木省三, 千草隆治, 丸山和久, 高橋 啓

はじめに

大阪府で開業されている岡 賢二さんが、著書の HOME DENTIST PROFESSIONAL (インターアクション社刊) に掲載されている症例の詳細な報告をつくってくださいました。書籍では紙面の都合で割愛された資料も含まれている貴重な報告です。そこで、症例の読み方を丸山, 千草, 高橋, 藤木で検討し、その結果を仮想対談形式で原稿にしてみました。これから症例を読む際の参考になれば幸いです (藤木)。

症例：HOME DENTIST PROFESSIONAL 第1巻 p.76

初診日：1997.1.6

生年月日：1947年3月

性別：女性

初診時年齢：49歳

主訴：下顎前歯部の歯肉が痛い

全身状態：2016年から高血圧のためCa拮抗剤開始。2023年からCa拮抗剤が2種類になり歯肉肥厚が出現



図1 1997.1.6 初診時

藤木 たくさんの症例の中から最初の座談会ケースとして選んでもらいましたがその理由は为什么呢。

高橋 この症例を最初からガンガン歯周外科をして、それに伴う補綴処置をしていたらどうなっていたでしょうか？ そんなことも考えられるケースです。

丸山 SRPによる歯周基本治療の典型例として選びましたが、一つの症例についてもたくさんのことが詰まっています。軽い気持ちだったのですが、しっかり読むと失礼しましたの気持ちです (笑)。

藤木 そうですね。サブカルテも含めてたくさんの記録があるのでほんとうにたくさんのことが学べますね。では、最初は高橋さんが言われた外科処置でなく、SRPでの歯周基本治療に関係することから話を始めましょう。

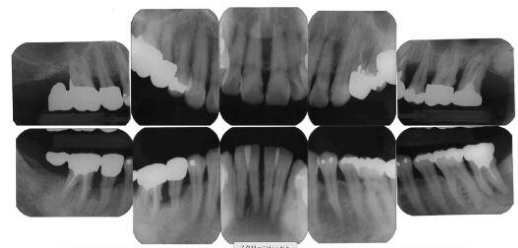


図2 1997.1.6 初診時

記録, 資料について

藤木 まずは記録, 資料についてですが、みなさんの感想を聞かせてください。

千草 26年間の記録自体が凄いですね。

高橋 今から30年近く前の1997年初診の資料 (口腔内写真, デンタルX線写真 (以下デンタル)) として、とてもクオリティが高いです (図1, 2)。この時期から、このクオリティなので、資料を通して経過観察ができるということを感じます。

丸山 岡歯科で資料が高いレベルで残っているのが1980年代前半または半ばからで、そう考えると岡さんが30代半ばから比較できる資料があることがすごいです。若い人は、せっかくヘルスケアに来たなら最低限資料はきちんと早急にとっておくようになっておかないともったいないです。

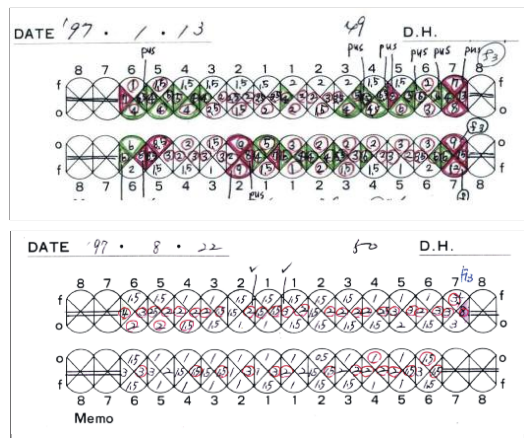


図3 上 1997.1.13 下 1997.8.22



図4 1997.8.22

歯周基本治療について

藤木 26年前の岡歯科における歯周治療についてはどうでしょうか
千草 初診時の歯周基本治療でI7以外は再評価までにしっかり治している (図3, 4, 5).

藤木 そうですね, 再評価の後の8月のデンタルを見ると, 下顎前歯, 51, 61, 16, 15にはわずかに残石がありますが, ほとんどの部位で大量に付いていた歯石が過不足なく除去されています.

千草 担当した歯科衛生士は1人? 初診時担当した歯科衛生士の経歴, 技量はどんなんでしょう?

藤木 そうですね, 後でお聞きしてみましょう*1).

丸山 適切な歯周治療, 基本治療のみとのことだが, 25年以上前で当時からSRPは1回でされていたのか?

藤木 本書の68ページに書かれているギャント先生に1988年に学んでからは1回のSRPを目標にしてこられたようです*2).

歯周基本治療後リコール未来院で2年半経過したにもかかわらず, セルフケアがいいから再発していませんね (図6, 7).

千草 2年半ぶりの来院でそこそこキープしていた要因は当時どう考えられたのでしょうか? 本当に偶然と考えたのか, あるいは基本治療がしっかりできていれば3年程度は問題ない?

丸山 再評価後ほどなく未来院, 2年半ぶりからのメンテナンス, 一度SRPをしていると間隔が空いてもすぐに悪化するわけではない. これはSRPの甘い当院でも感じることです. 縁下歯石がしっかりつくまでに長い年月がかかっている. それをある程度でも除去できていれば以前よりはマシな状態となる. 未来院=治療中断を嘆く歯科衛生士に慰めとなると思っている.

藤木 このあたりに関しても岡さんに尋ねてみましょう*3).

歯槽骨や歯列の変化について

藤木 歯肉, 歯槽骨や歯列の変化をもう少し詳しく見てみましょう. 私が素晴らしいと思ったことが二つあります. 一つは, SRP後半年程度で, 21の近心の骨の再生が始まっていることです (図8). こういうケースを若い人たちがしっかりと見て, 自分たちの目標にしていればと思います.

二つ目は, 1997年の初診と再評価をプロービングで見ると著明な改善が見られますが, 治療による歯肉退縮が少ないことです.

丸山 再評価時に歯間部の歯肉が落ち込んでいるのが2000年の時点で改善傾向, そして年数を重ねるごとにしっとり落ち着いた歯肉に変わっていく (注: 次号で写真を掲載します). 美しいです. それだけに16の遠心が気になったのかなと思います. その後外科処置をされていますね (図9).

藤木 歯列もかなり変化していますね.

丸山 下顎前歯の離開が閉じてきたのはいつごろから? 2000年来院時には下顎前歯離開がほぼ閉じています (図10). こういうことも, 患者さんの信頼を得たのではないかと思います.

抜歯の基準について

藤木 初診時にI7を抜歯して, 2002年にI7を抜歯されています. これは残せる, 残せないという判断も難しいですね.



図5 1997.8.22

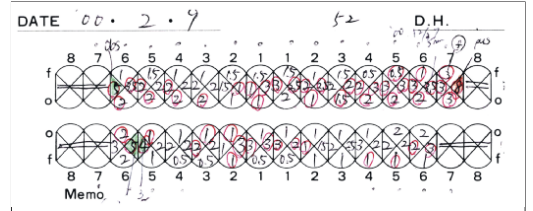


図6 2000.2.9



図7 2000.2.9

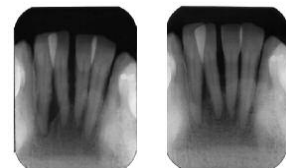


図8 1997.1.6 1997.8.22

Handwritten clinical notes table with columns for date, treatment, and observations. Includes entries for 8/6, 10/1, and 11/1.

Handwritten clinical notes table with columns for date, treatment, and observations. Includes entries for 10/1, 11/1, and 12/1.

図9

連載 15

フォーラム

フォーラム

【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】 ウェル baby イング

岡本愛実（おかもとこどもおとな歯科）



会員サイト内：[赤ちゃん歯科ブログ]

日常の臨床のなかで、子どもたちに「今日の給食は何だった？」と質問しています。そこで答えられない子のなんと多いことか… 「食べる」ことへの興味が深い子も多く見かけ、保護者の悩みが深いと感じます。その食の悩みは、離乳食の時期から始まっていると感じます。

当院の赤ちゃん歯科の主役はスタッフである歯科衛生士・保育士です。院長である私はほとんど登場しません。スタッフから助言を求められたときに登場する程度ですが、どんな質問にも答えられるよう、日々の勉強が欠かせません。

私の赤ちゃん歯科の学びは、10年ほど前、長女の子育てで悩んでいたところ、大学同級生の「赤ちゃん歯科」関連のフェイスブック投稿がきっかけでスタートしました。子育てには正解も不正解もない、ただ「知らない」ことにより、知らずにしていることが我が子にマイナスを生むことや悩みが深くなることも多く、正しい情報を子育て中の保護者に伝えていきたいと考えていました。

当初は、赤ちゃんが初診で来られたときには院長である私が登場し、お話を伺うパターンで、スタッフ自ら話してくれる状況ではありませんでした。しかし、わたなべ歯科のスタッフの方々から数ヶ月間学ばせていただいたことをきっかけに、スタッフがどんどん学びを深めてくれ、加速度的に医院の「赤ちゃん歯科」がぐんぐん成長したおかげで、私の出番はほぼなくなりました。わたなべ歯科にならない、当院でも「究極の予防は赤ちゃん歯科」と捉え、スタッフ主導の赤ちゃん歯科教室のたちあげにいたりしました。

お子さんの年齢や状況に合わせて「今できること」に着目し、赤ちゃんのときからのアプローチで「矯正いらずの元気な子」を目指すために、2022年9月より『赤ちゃん歯科教室』を行っています。ニーズの増加により、2023年10月より月2回開催予定での運営になり、現在は月2回の金曜日午前中に、2部制で「赤ちゃん歯科教室」を開催しています。



当院の赤ちゃん歯科教室では、保育士によるリトミックで遊びを取り入れながら、歯科衛生士によりむし歯予防やお口を育てる「口育」のお話を通じて、保護者への情報共有を行っています。お口を育てるおもちゃ作りも行い、苦痛や努力を強いるトレーニングではなく「家族みんなで楽しみながらお口を育てる」遊びを家庭に浸透させることで、家族みんなが健康になればと考えています。あわせて歯科医師による口腔内チェックも行い、お口の機能を発達させるために「今からできること」をお伝えしています。リピーターの方も多く通ってくださっており、「習い事」の感覚で来院いただいています。

「赤ちゃん歯科」に関する取り組みを行っている歯科医院は全国的に少しずつ増加してきておりますが、歯科にそういう分野があることを知らない歯科医院もまだ多くあります。口腔機能をしっかりと育て、不正咬合を発症させない、もしくは軽度にしておくことが、歯科業界全体で取り組むべき課題であると考えております。

「幸せになれる子・健康になれる子・健康を選べる子に育てるサポートをする」という医院の理念に基づき、今後も赤ちゃん歯科を広めていきたいと思っております。院長である私の役割は、学びの場・環境の提供をし、黒子に徹することだと捉えています。

ヘルスケア歯科学会のフォーラム「ヘルスケアと赤ちゃん歯科」に参加させていただくことで、各医院での取り組みを知り参考にさせていただくだけでなく、温かい雰囲気の中で一緒に学ぶことができ、お互いを認め応援する環境はかけがえのない宝物と感じています。これからもみなさんとともに学ばせていただき、「ヘルスケアと赤ちゃん歯科」から、全国に「赤ちゃん歯科」を広められるよう、尽力したいと思います。

★月1回21時からZoom ミーティングを行っております。



修復物サバイバルレートプロジェクトの活動報告



堀坂寧介（神戸市開業）

○掲載の図表は以下の URL より大きなサイズ（PDF）でご覧いただけます。
https://healthcare.gr.jp/newhp/wp-content/uploads/202404_NL27-2_survival.pdf

ある雑誌に載った「保険のクラウンは○年くらいしかもたない」に疑問を持った丸山和久さん（神戸市開業）の発案に「自分の入れたものがどれくらいもっているのか知りたい」「メンテナンスは長持ちに繋がったのか？」などに興味があった、羽山 勇さん、大井孝友さん、難波秀樹さん、山本修平さん、私の計6人で始まったプロジェクトです。

計画当初から久保至誠先生（長崎大学）、桃井保子先生（鶴見大学）もWeb会議に参加くださるなか、調査のプロトコルをどう設定するか活発な意見交換がありました。とくに定期管理期間の考え方、う蝕・歯周病・咬合などによる再治療のリスクとその変化をどう盛り込むか、調査する修復物・補綴物の絞り込みなどについて時間をかけて話し合いました。その後、長崎大学倫理審査委員会の承認を経て2021年8月に予備調査、2022年3～4月に本調査を行いました。結果は日本歯科保存学会の発表^{1,2)}や、日本補綴歯科学会誌で報告しています³⁾。

以下に、公表した主な図表に加えて載せられなかった図も併せて報告します。

図1は、調査にあたった修復物、補綴物（CR, In, FMC, 前装MC, Br）の生存曲線です。FMC, 前装MCの10年生存率は約80%であり、両者に有意差はありませんでした。（log-rank test : p=0.860）CR, In, BrはFMC, 前装MCより低い生存率となりました。5種類すべてで、数少ない既存の日本国内の報告に比べて高い生存率を示しましたが、今日の臨床研究法に準じた解析を行っており妥当性の高い結果が得られたと思います。

修復物について、CRを前歯、臼歯にグループ分けした結果を表1に示します。臼歯に2面以上充填したものは20年生存率43%と低い値を示しました。また、臼歯に装着した修復物（CR, In）をグループ分けした結果を表2に示します。大白歯で2面以上のCRとInの20年生存率は30%台とより低くなりました。

ここからは鑄造冠（FMC, 前装MC）の結果です。図2は初回製作と再製作鑄造冠の生存曲線を示します。初回製作の中央値は26.8年に対し、再製作は14.6年と有意に短くなることが明らかになりました。図3は生存率に影響を及ぼす因子を調べた図です。多変量解析ではメンテナンス（定期管理）の有無は有意に影響を及ぼす結果とはなりませんでした。（p=0.181）

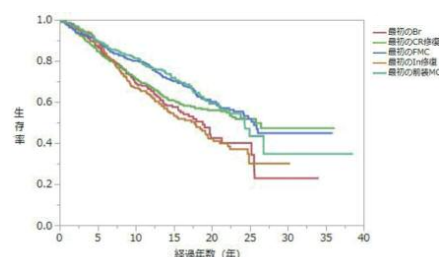


図1 CR, In, FMC, 前装MC, Brの生存曲線

Table 1 Survival rates of resin composite restorations

		n	10 yrs	15 yrs	20 yrs	
CR	Anterior	1-surface	43	75.5	56.3	52.0
		≥2-surfaces	210	70.0	62.5	56.4
	Posterior	1-surface	106	82.9	75.5	73.5
		≥2-surfaces	153	64.3	49.9	43.1

表1 CRの前歯・臼歯別生存率【1）より引用】

Table 2 Survival rates of posterior occlusal restorations

		n	10 yrs	15 yrs	20 yrs	
CR	premolar	1-surface	37	82.3	71.3	66.5
		≥2-surfaces	94	67.9	56.1	49.9
	Molar	1-surface	69	83.1	77.6	77.6
		≥2-surfaces	59	57.7	38.8	30.8
IN	premolar	1-surface	0	—	—	—
		≥2-surfaces	114	67.9	59.3	47.2
	Molar	1-surface	16	85.9	54.7	43.8
		≥2-surfaces	144	63.3	49.9	36.2

表2 臼歯修復におけるCR, Inの生存率【1）より引用】

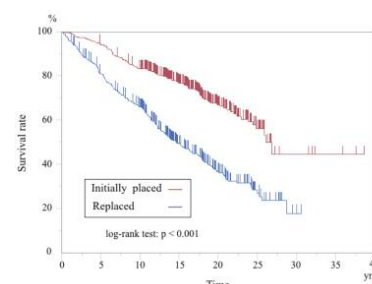


図2 初回製作と再製作鑄造冠（FMC, 前装MC）の生存曲線【3）より引用】

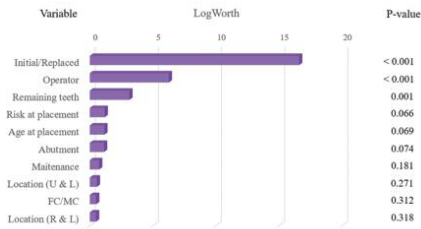


図3 鑄造冠の生存時間に影響を及ぼす因子【3】より引用】

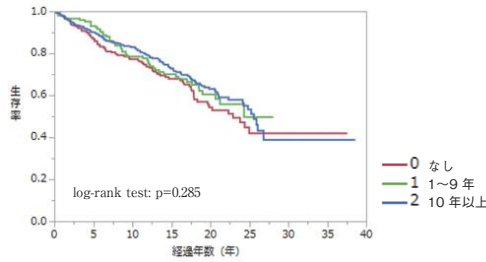


図4 定期管理期間による鑄造冠の生存曲線

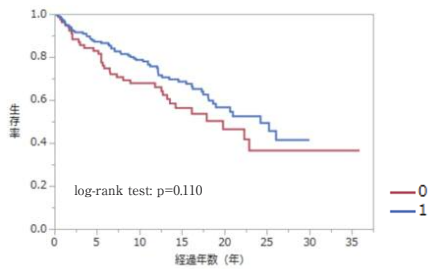


図5 ハイリスク患者の定期管理の有無によるFMCの生存曲線

0: 定期管理なし 1: 定期管理あり

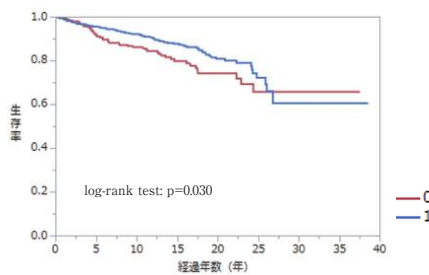


図6 FMCで二次う蝕・脱落・歯の破折が再治療の理由の場合、定期管理の有無による生存曲線

0: 定期管理なし 1: 定期管理あり

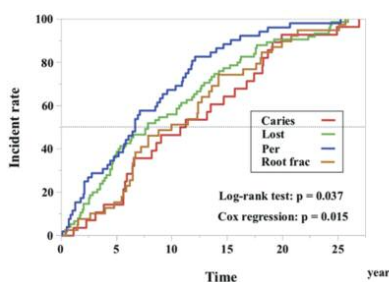


図7 鑄造冠における再治療の原因別の発生時間【2】より引用】

諦めきれず、定期管理期間（調査時を起点に遡って、1年に1回以上メンテナンス行為を連続して行った年数と定義した）の長さが鑄造冠の生存率に影響を及ぼすかを調べたものが図4です。残念ながら期間の長短でも差は出ませんでした。しかし、FMCで再治療リスクがハイリスク者に限った場合、定期管理「あり」は「なし」に比べて生存率が高い傾向（ $p=0.110$ ）が示されました（図5）。さらに、FMCで再治療の理由がう蝕関連（二次う蝕、脱落、歯の破折）限定の場合、単変量解析では定期管理「あり」が「なし」に比べて効果がある（ $p=0.030$ ）結果も得ました（図6）。図7に鑄造冠が再治療となった原因別の発生時間を示します。Perは早期に、う蝕や破折は遅れて出現する傾向がみられました。

結果をあらためて見直すと、鑄造冠の生存時間の平均は13.7年、定期管理期間の平均も12.9年と長期間に及び（表3）、冠装着直後から調査時まで定期管理が継続していた割合は32%でした。これらは、患者さんと長期間関わるヘルスケアの診療スタイルでないと得られない結果と感じました。また、調査した鑄造冠の94.4%が失活歯であったこと、この種の臨床研究が日本でほとんど無かったことへの驚きとともに、自分たちの治療から得られた結果であることは、今後の各人の診療や患者さんとの情報共有に大いに活かせるものと考えてます。

今後の展開としては、保険収載から10年経つCAD/CAM冠や最近適応になったCAD/CAMインレーなどの予後を、一般開業医の立場で従来のものと比較検討することもおもしろいかも知れません。今後の歯科医療にとって貴重な経験の蓄積になると思いますので、若い方々にはお願いしたいところです。

詳しい調査結果と考察にご興味あれば、下記を見ていただけたら幸いです。

- 1) 歯冠修復の生存時間（耐久性）に関する多機関共同研究. 日本歯科保存学会 2022年度秋季学術大会 p.60
- 2) 歯内療法後の補綴治療（クラウン）の生存時間—多機関共同研究. 日本歯科保存学会 2023年度春季学術大会 p.50
- 3) 全部鑄造冠、前装鑄造冠の生存時間に関する多機関共同後ろ向き研究. 日補綴会誌 2024; 16: 49-57.

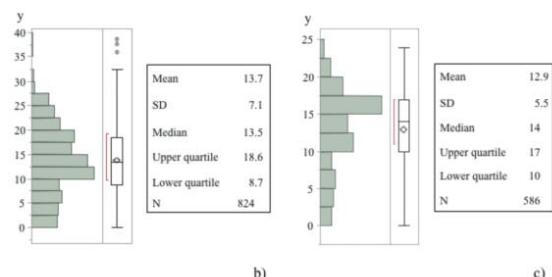


表3 b) 鑄造冠の生存時間 c) 定期管理期間【3】より引用】



SM=3	6歳時	7歳時	8歳時	9歳時	10歳時	11歳時	12歳時
	0	0	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	2	2
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0		0	1		4
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	1	2	2
	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	2			2	2
	0	0	0	0	0	1	1

図4 ミュータンス菌レベル3の子どもの結果

です (図3).

図4はレベル3の子どもの結果です。レベル3でも毎年最低1回の健診を受けていれば10人中6人はむし歯を作らずにすんでいます。たとえミュータンス菌レベル3でも、定期健診をおこなうことでむし歯を予防できるんだ！という自信を持つことができました。このようなことが、予防を目指すスタッフたちのやりがいにも繋がってきます。

〈今回のまとめ〉

データを何故入れるのか？ それは、「知りたいことを知るため！」



○新フォーラムの紹介

「ウイステリア検証フォーラム」

みなさん、ウイステリアは活用されていますか？
私自身開業以来からデンタルX（プラネット：現在デンタルXR）に口腔内写真や歯周組織検査の結果など様々なデータを入力してきましたが、数年前からウイステリアをパソコン1台にインストールし併用してデータを入れています。現在、様々なデータベースが存在しますが、入力した結果を検証できる大変優れたデータ

ベースが当学会で開発された「ウイステリア」だと思っています（詳細は vol.27 no.1～藤木省三さん連載）。
ところで日々患者さんのデータをウイステリアに入力していて、どんな検索（検証）ができるのでしょうか？ ウイステリア検証フォーラムでは、ユーザーがどのような項目に入力しているのか、またどのような検索をしているのか、その方法などを気軽に相談しあえる集まりを目的にしたいと思います。
興味のある方は林（rinsan@sea.plala.or.jp）までご連絡ください。

林 浩司（コアメンバー・真岡市開業）

公認団体: Dr とスタッフがいっしょに参加できる兵庫ヘルスセミナー

日時：2024年5月19日(日) 10:00～16:00
場所：神戸市産業振興センター会議室 901号室
定員：100名
参加費：参加者一人につき6,000円(弁当付)
講師：杉山精一（八千代市・杉山歯科医院）
ヘルスケア歯科医院で取り組むカリスママネジメント
阪下 卓（宝塚市・たるみ歯科クリニック）
たのむぜ！小児歯科！～小児な小児歯科医が小児歯科を語る～
藤木省三（神戸市・大西歯科医院）
SRP, キュレットでガリってどうなんだろう？
申込み：メールでお申し込みのうえ、下記振込先へお振込みください
syuhei@ydc-suma.com（山本修平）(申込みの際、クリニック名と参加者氏名、職種を記載してください)
振込先：みなと銀行月見山支店 普通 1696251 ヤマモトシュウヘイ

大阪ワンデーセミナー 2024

日時：2024年9月1日(日) 10:00～
場所：大阪歯科大学 創立100周年記念会館 大講義室
定員：200名
参加費：会員歯科医師 9,000円 非会員歯科医師 12,000円
会員歯科衛生士 5,000円 非会員歯科衛生士 8,000円
会員その他 4,000円 非会員その他 5,000円
研修医 1,000円
学校関係者（教員・学生）無料
※全職種・要登録



SNS/YouTube で情報発信中！

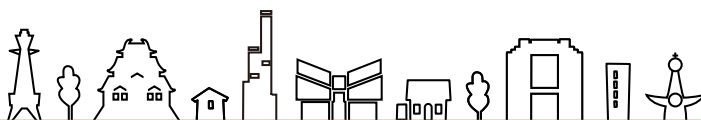
学会 web サイトの更新情報（セミナー・イベント情報）をほぼ随時発信中！ 医院のスタッフの方もどなたでも登録OK！
*会員限定のメールマガジンも不定期配信中！ 事務局までメールアドレスを登録してください。



5/17

受付開始

ワンデーセミナーとは
1日で理解できる「ヘルスケア歯科診療」



OSAKA ワンデー セミナー2024

ぼちぼちいこか
シン・関ヘル

2024年9月1日(日) 10:00 ~

場所：大阪歯科大学
創立100周年記念館 大講義室
(大阪市中央区大手前 1-5-17)

【参加費】(全種別要登録)

会員歯科医師	9,000円	非会員歯科医師	12,000円
会員歯科衛生士	5,000円	非会員歯科衛生士	8,000円
会員その他	4,000円	非会員その他	5,000円
研修医	1,000円		
学校関係者(教員・学生)	無料		

※会場での飲食は不可。昼食の用意はありません。

【定員】200名(定員になり次第受付終了)

【対象】ヘルスケア歯科学会に興味がある方、すでに会員の方、診療所の新人スタッフへの落とし込みしたい方、など

※詳細はこのニュースレターに同封のフライヤー
をご覧ください。

※お申し込みはホームページ、またはQRコード→



書評

再石灰化と重症化予防を目指す 歯冠う蝕のマネジメント 検査に基づく診断と治療の フローチャート

著：景山正登

出版：ヒョーロン社刊

2024年2月

定価：8,250円(税込)

昨年のHCM2023に登壇された、景山正登先生の待望の新刊が出版されました。

雑誌「日本歯科評論」で連載された内容がベースになっていますが、私は連載時より「う蝕の活動性の評価」というキーワードに大変興味があり、楽しく連載を読んでいました。Bente Nyvad先生が提唱された、いわゆる「Nyvad criteria」を軸に、景山先生の診療室でう蝕の活動

性をどのように評価し、マネジメントしていくかが解説されています。

私見ですが、う蝕という疾患を臨床家として理解するためには、リスクアセスメントとマネジメントの両輪を理解することを学びの出発点とすると、その前後にある病因論や具体的な手技などの理解へと、うまく紐づけていくことができるのではないかと日々感じています。

本書はまさにそうした部分に重きを置いており、日々の臨床にアウトプットしやすい内容となっているのではないかと思います。

カリオロジー関連の書籍はたくさんありますが、これほど多くの臨床写真を織り交ぜながら、一つひとつの症例に対する解説、臨床指針を丁寧に盛り込んでいる書籍にはなかなか出会えません。加えてフローチャートで臨床の流れを確認することで、歯科医師・歯科衛生士がどうコミュニケーションをとりながらカリエスマネジメントを行えばよいのか、非常に理解しやすい内容になっています。

ベースとなるエビデンスや知識もち



ろん大切ですが、実際に臨床例を交えながら長期経過を示すことの尊さを改めて感じた次第です。

私は景山先生とは直接の面識がありませんが、イエテボリ大学に赴き、Peter Lingström先生に直接質問を投げかけるという臨床への飽くなき探究心や行動力に、大変感銘を受けています。

いつかお会いし、お話ができる日を夢見ながら、多くの臨床家の手元にこの書籍が届くことを願っています。

(寺岡徳光・今治市勤務)



SSD のすすめ



森 一弘 (学会認定ウイステリアサポート技術者 アクセス代表)

☆ アクセス

〒 842-0033

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13

TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767

携帯 090-1920-7894

URL <https://www.access-dental.jp/>

URL <http://www.access-pcdoc.jp>

E-mail kazu@access-pcdoc.com

今回は SSD についてのお話です。SSD (Solid State Drive) とは簡単にいうとパソコンの記憶装置のことで、プログラムやデータを書き込んで保存する部品です。現在市場に出回るパソコンの大半が SSD に変わり、HDD (Hard Disk Drive) が徐々にその役割を終え始めているところです。とはいえ、歯科クリニックのなかで、まだまだ HDD 内蔵のパソコンが数多く使われていることでしょう。

この SSD と HDD の違いで、最大の特徴はアクセススピードです。パソコンの電源を入れてから立ち上がるまでの時間、ソフトを開く、使う、閉じるときの動き、パソコンをシャットダウン完了するまでの時間にかなりの差がでます。「パソコンがサクサク動く」という感じが SSD だと、はっきり体感できます。

パソコンを使っていて、「立ち上がりが極端に遅い」「いちいち反応が遅い」「よく固まる」などで「仕事がすまない」という経験はないでしょうか。かといって、使っているソフトの互

換性の問題で新しいパソコンに買い変えできない。そんなジレンマを抱えていませんか？ 私もいたるところで、いまだに Windows7 等のかなり古い OS が使われている現場に遭遇します。

こういった少し古めのパソコンの HDD を SSD に交換して、サクサク動くように改造することができます。もちろんパソコン内のソフトやデータ、細かい設定をそのまま移行 (クローン化) して、ソフトの再インストールや細かい設定をやり直すことなく以前のままの状態です。また同時に容量アップも可能で、空き容量が少ない場合でも大丈夫！ もちろんその作業には、専門的なソフトや道具が必要なため、専門業者に依頼した方がよいでしょう。お近くのパソコンショップや、パソコン修理の業者等、この作業対応ができる場所は多いと思います (弊社でも直接現地にお伺いしてのご対応も可能です)。

新しくパソコンを入れかえる場合、ネットワーク全体で数台新しくするとなれば、その費用もそれなりにかかってきます。もう少し今のシステムを延命したいときなど、この改造は有効だと思います。

あと、SSD のなかでも、「M.2」という種類のものはさらに高速でデータの読み書きができますので、新しくパソコンをご購入の際には、そのチェックをお忘れなく！



口腔内 規格写真 Perfect Master



パソコン・タブレット、スマートフォンに対応

いつでも・どこでも！
一人でも・グループでも！
自分のスタイルで学びが得られる！

vimeo オンデマンドで
e-Learning
2024.3.9

NEW ITEM Release

講師：落合真理子 (歯科衛生士)

配
信
内
容

撮影ポジションについて (1 本)

機材解説 (1 本)

撮影部位ごと解説 (11 本)

正面、右下舌側、右上口蓋側、左下舌側、左上口蓋側、右側方、左側方、

上顎前歯口蓋側、上顎咬合面、下顎前歯舌側、下顎咬合面

12 枚法撮影のながれ (1 本)

【Vimeo】とは…

日本ヘルスケア歯科学会のオンデマンド受講では、Vimeo (ヴィメオ) という動画配信サービスを使用しております。受講される方は、お手数ですが『Vimeo の無料ユーザー登録』をお願いいたします。レンタル時のみ、料金が発生します。お支払いはペイパル・クレジットカードをご用ください。

対 象：会員・非会員問わずヘルスケア歯科診療を学びたい方

受講料：シーズンレンタル (1 年間見放題) 10,000 円

※詳細は前回ニュースレター (Vol.27 no.1) に同封のパンフレットまたはホームページをご覧ください。

【報告】

認定分科会の登録却下に対して

報告：秋元秀俊（事務局長）

本会は、昨年8月、日本歯科医学会（会長住友雅人）に対し、同学会認定分科会としての登録を申請しました。わが国の医系学会は、医科系は日本医学会、歯科系は日本歯科医学会の傘下にあり、日本歯科医学会は、専門分科会として26学会が加入、認定分科会として21学会が登録していますが、その認定分科会への登録を申請したのです。ひとことで言えば、わが国の歯科学会として認知を受けることを求めたのですが、じつは11年前（平成23年8月）にも一度申請して却下された経験があります。認定分科会への登録には、いくつかの条件があるのですが、機関誌に年間5編の原著を掲載するというハードルを越えられずに登録拒否という憂き目を見たのです。今回、折角まじめに活動しているのだから、登録申請を是非しなさいという大学関係者のアドバイスを受けて、「3年にわたって原著年間5編」をクリアするための作戦を立て、昨年満を持しての申請となったのです。

さて、その審査結果（日歯学会発第130号）が、日本歯科医学会から2月6日に本会に伝えられました。

登録を否とする。
承認基準を満たしていないと判断した項目として、
基準2. (1) (4) (5) (6)

詳細は、省きますが、4項目にわたって欠格であるという審査結果です。認定分科会対策委員会およびコアメンバー会議では、今後も申請を継続するかなど、その善後策を協議しましたが、長い議論を経て、この審査結果は事実誤認に基づくもので、疑義照会をすべきだという結論に至りました。その疑義照会が、柔らかな表現ながら問題点を詳細に述べていますので、会員の皆さんに対して公表します。なお、この文書は、オピニオンメンバー会議で報告された後、3月14日に配達証明郵便にて発送されました。

日本歯科医学会
会長 住友雅人殿

一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会
代表理事 高橋 啓

前略 貴学会からいただいた「日本歯科医学会認定分科会への登録申請の審査結果について（回答）」（日歯学会発第130号、令和6年2月6日付）につきまして、いくつか不明なところがございますので、お尋ね致します。すでに貴学会常任理事会にて協議決定された結果ですので、結果に異議を唱える意図はありません。しかしながら、審査において何らかの誤解・誤認があったと思われるので、どうかご確認の上、是非ともご回答ください。

誤解・誤認と思われるのは、認定分科会承認基準を満たしていないと判断された、以下の(2)および(3)の2点です。

(1) まず、私どもの学会では、平成23年8月に認定分科会に登録申請をしていますが、それに対する貴会の回答（日歯学会発第275号、平成24年1月30日付、以下回答A）に基づいて、承認基準を満たすべく努力をしてきました。しかしながら、今回の回答（日歯学会発第130号、令和6年2月6日付、以下回答B）は、前回とは異なる点をご指摘いただいております。改善すべき点は、学会活動の質の向上を図る上で極めて重要ですので、回答Aと回答Bの違いが生じた経緯・理由を教えてください。

回答Aにおいて、認定分科会承認基準を満たしていないと判断された理由は、承認基準2. (1), (6) ①を該当条文とし、改善点として「専門性・独自性の高い学会活動の更なる展開、機関誌の原著論文数の増加」の2点が示されました。このため、本会では、会員に対し研究計画作成や臨床統計の研修などさまざまな努力を重ね12年後の昨年（令和5年8月）に、承認基準を満たしたと判断し、再度登録申請を致しました。しかしながら、回答Bの登録拒否の理由においては、その理由の該当条文が「承認基準2. (1) (4) (5) (6)」に増え、うち「承認基準(1) (4)」を満たしていないとされています。審査の度に、審査基準が変更になるとすれば、学会活動の改善の指標が定まらず、また審査の公平性、公正性にも疑問を生じます。

(2) 承認基準を満たしていないと判断された、該当条文(1)については、登録申請理由として①従来の歯科医療が重症化し自然治癒が望めなくなったう蝕・歯周病やそれに伴う歯質や歯の欠損を主たるニーズと想定しているのに対して、本会ほう

蝕・歯周病・機能障害の重症化予防と健康の維持管理を主題としており、そのような複合的で社会的要請に応える専門性を有する学会は他にありません。②本会は歯科分野でもっとも早い禁煙宣言と禁煙支援実績調査、歯科関連学会で率先して最も早く医療技術評価提案書の提出を行っており、これは社会的要請の強い研究分野をもつことの証左です。③学会としての「歯科衛生士業務（診療補助）ガイドライン」を公開していることも社会的ニーズに応えたものです。④「治療中心型から治療・管理・連携型へ」とする医療保険行政の方針転換に、広くヘルスケアを専門分野とする本学会は定期管理による重症化予防の研究実績を公開するなど、多大な貢献をしてきたものと自負しています。承認基準（1）の「独自の研究分野、複数の領域にまたがる複合的な研究分野および社会的要請の強い研究分野」を含む専門学会であることには一点の曇りもないと思います。該当条文（1）をもって欠格とする判断には何らかの誤解があると思われます。

- (3) 承認基準を満たさない理由として追加された、該当条文（4）にかかる欠格事由については、明らかに事実誤認があります。

本会は、定款において2年を任期（定款9条）とする代議員（社員）を2重封筒を用いた郵送式の会員全員による選挙により選出（定款第8条）し、選出された代議員による代議員会（定款第16, 17, 18, 19条、略称オビニオンメンバー会議）を年間2回以上開催しています。これが議決機関で、役員選出、事業報告・決算監査報告、事業計画、定款および細則事項については、この代議員会での審議承認を必要とします。その審議内容については、インターネットサイトに逐語的議事録を公開しています。

一方、役員は、代議員会における選挙にて選出され（定款第24条）、選出された理事が構成する理事会において代表を互選し（定款第25条）代表が役員を指名して執行機関（理事会、通称コアメンバー会議）を構成しています。この執行部は年間13回以上の会議で会の執行方針を決定し（定款29,30,31,32,33,34条）、その議事録もインターネットサイトにすべて公開しています（定款第35条）。

貴回答は、「社員および理事等、役員の具体的な選出方法が不明であり、議決機関と執行機関が分離されていることを確認できない状況である。」としており、明らかな誤解がありますが、貴会からこの件についてお尋ねや調査を受けた経緯はありません。申請時資料として定款および細則を提出し、議事録をすべて一般公開しているにもかかわらず、このような事実誤認が生じる理由が理解できません。審査協議プロセスに何らかの錯誤が生じたことが推測されます。この「確認できない状況である」との意見がどのような根拠に依るものか、明らかにしてください。

- (4) 改善を要するとされた承認基準（5）にかかわる改善すべき状況として「学術大会への参加者数は会員の2割程度の200名」だったという指摘をされていますが、この時期は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、多人数の集会に懸念があったことを斟酌願いたいと存じます。

承認基準（6）にかかわる機関誌の掲載論文について、まず原著論文数が少ないことは、その会員の多数が開業歯科医（日本歯科医師会正会員第1種）からなるすべての分科会に共通ではないでしょうか。開業歯科医が多数を占める登録認定分科会の機関誌には、少なくともこの10年間、原著論文は極めてわずかしか確認できません。その事実は、負の側面であるとともに、日々の診療を何よりも重視する臨床歯科医師の学会の特性とお考えいただけませんか？

「総説や調査報告が多く、特定の著者による投稿に偏っている点」を改善点としてご指摘いただきました。そのご指摘はありがたくお受けするものの、同時に本学会の会員が、日常診療の疑問を研究のモチベーションとし、各々の日常診療の記録を蓄積して研究材料とし、それを研究に結びつける努力をしていることをご認識ください。私たちは、日々の診療こそ、もっとも大切な研究の場と考えています。私どもの学会では、日々の診療について規格性の高い資料を蓄積することを推奨し、自らの臨床の疑問を尊重し、その解明の手がかりを自らの臨床記録から得る努力をしています。それは会員の大多数が臨床現場の歯科医師であるという特性を活かした多様な調査研究となり、20年を超える数多くの長期経過観察症例の報告として実を結びつつあります。

これまでフィールドの疫学研究や実験的な介入研究のみが純粋な研究として評価されてきましたが、バイアスやゴミの多い現場の日常研究を一次研究として重要視することは、ヘルスケア分野の世界的な潮流です。合衆国 AHRQ（The Agency for Healthcare Research and Quality）による” Primary Care Practice-based Research Networks（PBRN）”の活動などは、その好例です。私どもの学会では、調査報告や症例研究が多くなりますが、これはより次元の高い臨床疫学的研究にはなくてはならない一次研究です。現場の研究活動の特性とその重要性こそ、認定分科会に期待されるものではないでしょうか。貴学会が専門分科会と認定分科会の階層構造を成す理由は、ここにあると理解していますが、認定分科会というカテゴリーはそのように位置づけられてはいないのでしょうか。ご見解をいただければ幸いです。

以上、日本ヘルスケア歯科学会の執行機関である理事会で承認を受け、貴会会長にお尋ねするものです。ご助言、ご回答いただければ、幸いです。

草々

新入会者音信

2024 年度の新入会者数

	2023 年			2024 年			合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
歯科医師	2	0	0	3	2	2	9
歯科衛生士	7	1	2	4	3	5	22
歯科技工士	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	2	0	1	0	4
法人	1	0	0	0	0	0	1
合計	11	1	4	7	6	7	36

新入会者紹介

町田宗一郎（歯科医師）

メインテナンス患者率はあがってきて歯科衛生士の人数もそろってきていますが、歯科衛生士のレベル、クリニックのチーム力がまだまだの状態です。開業 18 年目ですが、あらためて地域社会に貢献できるクリニックを作りたい思いから入会します。よろしくお願いいたします。

一森康男（歯科医師）

お世話になります。熊本県で開業しております一森と申します。歯科医師になって 20 年以上が経過しましたが、予防の大切さを身にしみて実感しております。

移転を機に入会させていただき、もっと学術的にわかりやすく予防をやっていける様学びたいと思っております。よろしくお願いいたします。

大迫楓香（その他）

まだ診療に携わって日が浅いのでたくさんの事を学べたらと思います。

下野麻美（歯科衛生士）

ヘルスケアの知識についてはまだまだ未熟ですが、これからみなさまと一緒に学んでいき、患者様そして地域の方々にもっと貢献していきたいと思っています。

マー君の

enjoy my life

2020 年 2 月末 (65 歳) で開業 38 年目の河野歯科を廃業して、毎日が日曜日の生活を過ごしています。なかなかいいもんですよ。

by 河野正清

Vol.13 デビットカードは危険だ!!

2023 年 12 月のクアラルンプール旅行中に財布をスラれて、財布に入れておいたクレジットカードと WISE というデビットカードが不正利用されたことは、前回の Vol.12 でお話ししたとおりでした。1 ヶ月から 2 ヶ月後の後払いであるクレジットカードは使い過ぎてしまう可能性があり危険で、それに対してデビットカードは即時に銀行口座から引き落としされるのでそれ以上は使えないので安全だ、と一般的に言われています。私もそのように考えていましたが利用額という観点からはその通りですが、不正利用の被害防止という観点からは、今回の事件で実はデビットカードの方がはるかに危険だ!! と考えるようになりました。

クレジットカードが不正利用されたときはなるべく早くカード会社に連絡をすると、カード会社が調査してその利用を取り消してくれます。そして 1 ヶ月から 2 ヶ月後の請求時には支払いしないで済みます。つまり実質的に被害はないことになります。それに対してデビットカードは不正利用されたと同時に銀行口座から引き落としされてしまうので、後日不正利用された金額を返却してもらえない可能性はほぼゼロです。今回デビットカードの不正利用は僅か 3 件 1 万 6 千円余でしたが 3 件ともスーパーマーケットで決済されていました。最近少額のカード利用の場合、暗証番号入力が必要なことが多いですよね。どういうふう不正利用し



ベトロナスツインタワー内のショッピングモールのクリスマスデコレーション

たのかは想像できませんが、気がついたときにはすでに確実に被害が確定してしまっている、ということでした。

みなさんもクレジットカードとデビットカードの違いをしっかりと理解したうえで、デビットカードは紛失したら危険だ! ということを理解して迅速に対応してくださいね。





動画<POINT> **どうでしょう** 【ポイント】 (2)



(落合真理子)

第2回【根面探知】

プローピングで4mm以上、BOP(+)部位があれば、歯肉の炎症が疑われます。

そうなると、次に行うのは【根面探知】です。

探知用のエキスペローラーを使って、根面の状態を把握してSRPが必要かどうかを判断しましょう！

1. 探知用エキスペローラー

根面探知には、プローピングで使用するポケット測定用プローブではなく根面探知用のエキスペローラーを使用します。

重量が軽く、先端が細くて柔らかく「しなり」があります。

軽くて細くてしなるからこそ、根面の凹凸や微細な沈着物を感じ取ることができるのです。



2. 根面探知で分かること

根面探知で分かることは歯肉縁下歯石の存在だけではありません。

歯肉縁下歯石・プラークの他に、CEJ・補綴物マージン、歯根形態、セメント質添加。

これらの情報を得ることができます。

根面のザラつき=歯肉縁下歯石。ではありませんので感覚を研ぎ澄ませて根面の状態を把握していきましょう。



3. ストローク

根面探知のストロークは、自由です！

プローピングのように垂直ストロークだけでなく、横・斜めと自由自在に根面を滑らせていきます。

細かいストロークが基本です！

沈着物のザラつきや凹凸を感じても決して引っ掛けずに、凹凸を乗り越えて沈着物全体の「幅・深さ・厚み」を感じ取りましょう。

□ Web セミナー

■ 2024年5月15日(水)・6月19日(水)・各回20:00～

パネリスト：渡辺 勝

コミュニケーションセミナー：プレミティグ in オンライン

対象：歯科医療従事者ならどなたでも

参加費：無料・要登録

定員：100名

■ 2024年6月2日(日) 10:00～12:00

パネリスト：佐合徹平(九州歯科大学 助教)

歯科衛生士も知っておきたい全身管理の基本

参加資格：会員・非会員問わず

参加費：3,000円(要Zoom登録)

※会員特典 1カ月のアーカイブ配信あり

定員：100名

□ 新オンラインサロン(無料・登録不要) 毎月第2火曜日

■ 2024年5月14日(火)

ADFで楽しみながら一緒に学びませんか？

■ 2024年6月11日(火)

ChatGPT

■ 2024年7月9日(火)

未定

ウェビナー告知板

ウェビナー報告

Webセミナー 2024年2～3月
新オンラインサロン 2024年3月

ヘルスケア Web セミナー

2024年2月21日(水) 3月20日(水祝)20:00～ 運営：田幡
コミュニケーションセミナープレミーティング in オンライン
(パネリスト：渡辺 勝)

9月23日(月祝)に開催するリアル会場セミナーに先駆け、オンラインでプレミーティングを複数回行っていきます(今後も8月まで、毎月第三水曜日に開催しますので、お忘れなく!!) テーマも実際の受講者さんのアンケートから選んで決めているので実践向きなセミナーになっております。

第1回のテーマは『おばあちゃん(おじいちゃん)がお菓子を与えてしまうと言う患者さんへの対応』でした。

参加者は38名、非会員の参加者もあり、いつもの学会内のセミナー参加者ではない面々が混じり、賑やかな初回開催となりました。

セミナーはアイスブレイクから始まり、お題の発表、そして参加者同志のロールプレイ、講師の渡辺 勝さんから理論と動画での参考事例の紹介。

そして、コミュニケーションの幅を広げるため、サポーターの田幡からもコミュニケーションのtipsのシェアを行いました。

さまざまな医院の方が参加してくれたので、参加者の感想もそれを反映したものとなりました。

第一回の参加者の感想、

「ロープレがすごく面白かったです! コミュニケーションを取るのが楽しくなるように今日の学びを活かしたいです」
「違う医院の方と予防について、お話する機会が新鮮で、その医院ならではの文化や考え方を知れて視野が広がりました」
「とてもわかりやすく、明日から取り入れられることでした」

など、明日から実践に活かせるコツを、前向きに学べた様子が伺えました。

迎えた第2回、

テーマは『無口、言葉や雰囲気への圧力のようなもので、壁を作って本音を吐き出しづらい人とのコミュニケーションのスタートは?』でした。

今回は祝日もあっても、前回よりも参加者が少なく18名での開催。少人数での開催の利を生かし、参加者同志のロールプレイから、どのようなコミュニケーション方法が出たのかを、全体でシェアしました。

受講者からの感想は、

「久々に、お子さんのことではない、男性大人の問診をしたらグズグズでした(笑)。ロールプレイを実際にできたことで、自分のいたらぬ点に気づくことができました。知りたい!なんで! をまったく出せなかったので、今日学んだ、相手のニーズを考えてみる、自分のニーズを伝えるというところを明日から実践してみようと思います」

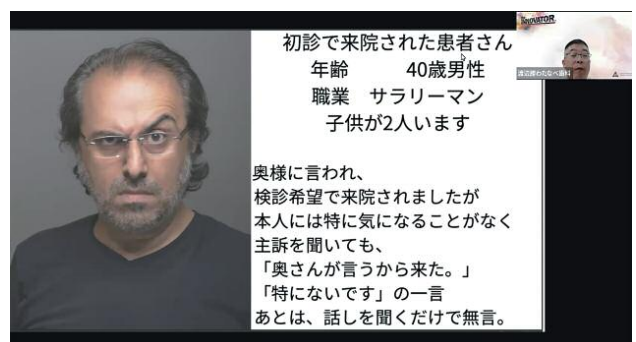
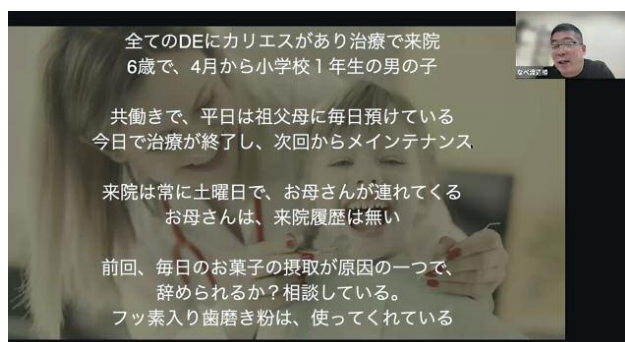
「ほかのトークルームの方の意見も聞き自分の幅が広がったから自分が苦手とすることやその課題も明確になったから」
「具体的な切り口や会話の広げ方などが参考になった」

など、第2回は、わりと受講者が苦手なお題だったようで、その分、第1回と違った自分を振り返るような、気づきにもなった様子でした。

このように、コミュニケーションセミナーは、コミュニケーションの幅が広がること、間違いなしです!

普段、向き合うことが少ないかも知れませんが、日常臨床はコミュニケーションを抜きでは、成り立たないことはみなさんおわかりのはず。ぜひ、皆様のご参加、お待ちしております。

(報告：田幡 壮・わたしの歯医者さん)



新 ヘルスケアオンラインサロン

2024年3月12日(火)20:30～ 運営：島野

K-waveの魅力と活動を紹介します！

今回は K-wave のみなさんにお話いただきました。

中本知之さん、山本修平さん、本多 毅さん、曾野偉鍊さんから K-wave の成り立ち、取り組み、活動などについてお話がありました。

はじめは、中本さんと山本さんが二人で2016年にたちあげ、現在までにヘルスケア診療をスタートした方を対象としたベーシック32回、最低限のヘルスケア診療ができる体制の方を対象としたアドバンス5回、特別講演9回、論文抄読会も多数行われていて、会員の認証診療所16医院を輩出するグループへと成長されたそうです。

前回の K-wave ベーシックには41名、アドバンスには53名が参加されたそうです。

運営サイドの人数を極力減らせるようにSNS、ペーパーレス化、イベント予約アプリ等々を活用しセミナー開催の省力化にも取り組まれているとのこと、他の公認団体やスタディグル



ープにも運営の際に参考になるお話がありました。

ベーシックについては、本多さんから「ヘルスケアの裾野を広げられたら」とのお話があり、熱い思いを感じることができました。

曾野さんからは、主催のセミナー、やDX等の企画中のことについてお話いただきました。

また、歯科衛生士のコースもエントリーコース、ミドルコースと開催され、その企画力、行動力に驚かされました。

日本ヘルスケア歯科学会の公認団体にもなり、勢いがあり、ますます目が離せない会になっていると感じました。

(報告：島野圭介・島野デンタルオフィス)



オンラインサロン紹介

○ 2024年5月14日(火) 20:30 ～ 「ADFで楽しみながら一緒に学びませんか？」

ADF(淡路デンタルフォーラム)は、毎年9月第一土曜日に開催しているスタッフのためのミーティング(懇親会がまた楽しい!)です。近年は現地参加とWEB参加、両方可能です。毎年120～160人の参加があります。

日常臨床での成果・疑問点等をスタッフが発表し、お互いにさまざまな知識を吸収できることを目標にしています。歯周病専門医の楠 雅博さんが主宰され昨年30周年を迎えました。

会の目標は「患者さんの口腔の健康を作りあげ、長期にわたって維持増進していく」ことで、ヘルスケア歯科学会からはう蝕・歯周病のリスク管理などの考え方を学んでいます。5件の認証診療所が参加しています。

発表するスタッフに対して、さまざまな方から温かいアドバイスをいただくことで次の1年を頑張ろうというモチベーションアップにつながります! 発表はマストではありませんので気軽にご参加ください。お仕事に対する姿勢が変わりますよ!! (阿部敬典)

○ 2024年6月11日(火) 20:30 ～ 「ChatGPT」

最近話題のChatGPTは、コンピューターが人間の言葉を理解して、会話ができるプログラムです。

私は1年前から使い始めました。臨床よりも普段の雑務に使用しています。

今回はChatGPTの概要、使い方、私の活用方法、情報収集についてざっくりとお話しします。はじめての人向けの内容となります。詳しく知りたい人はYouTubeにわかりやすい動画が山ほど出ていますので、こちらでお願いします(笑)。

私自身まだまだ模索中です。すでに使用している先生はぜひ普段の活用方法について一緒に語り合いませんか? ChatGPTを手懐けることができれば、世界が広がるかも知れませんか? (杉山修平)

【第7期】第3回 オピニオンメンバー会議 (代議員会) 報告

3月10日(日) AP 浜松町 Room C および Zoom



2024年3月10日午前10時からAP浜松町会議室およびZoomミーティングで、オピニオンメンバー会議(法人代議員会)が開催された。

議事に先立って2023年12月31日までに70歳以上になられた会員7名に対し、当学会の活動に貢献されたことに感謝して表彰が行われ、続いて定款に基づき会員数(歯科医師623名; 対前年度比20名減, 歯科衛生士352名; 対前年度比1名減, 歯科技工士; 対前年度比1名減, その他会員41名; 対前年度と変わらず計1,018名; 対前年度比22名減), 併せて特別学術会員の新任・継続について報告の後, 高橋 啓代表の挨拶が促された。

議長には, 齋藤 健さんが選出された。選出と同時に, 議長は「会場25名・オンライン31名 計参加者56名 委任状21名により, 本会は成立」と宣言し, 議事録署名人に高木景子さんと藤本 淳さんを指名し, 直ちに議案の審議に入った。

第1号議案 令和5年度事業報告および結佐報告 令和5年度会計監査報告

コアメンバーの田中正大さんが, 続いて令和5年度決算について事務局の秋元秀俊が報告(決算報告および決算諸表は別掲)し, 監事の河野正清さんが監査報告を行った。引き続き, 以下の議案を審議し, 了とした。

以下, 当日審議あるいは意見交換された議案とその結果は, 次のとおり。

第2号議案 令和6年度事業計画・予算

賛成多数により, 了承された。以下, 報告事項。

第3号議案 委員会等の組織改編

ホームページ刷新進捗報告

(組織改編については事実関係について議案を別掲)



第4号議案 日本歯科医学会認定分科会登録申請の審査結果について

第5号議案 ヘルスケアミーティング2024について

なお, 詳細な議事録は, 本会ホームページに公開されており, 参照されたい。この会議で, 議案の表決以外にあった質問および執行部の回答は, 以下のとおり。

第1号議案の決算審議において, 大井孝友代議員(オピニオンメンバーを以下, 代議員と称する)は, 「会員減に対する, 新たな方策」について尋ねた。

高橋代表は「年間セミナーで歯科医師50人新入会, ホームページを刷新して, そこから入る人が歯科医師50人, というのが達成できれば随分変わるという話を去年からしている」と既定方針をもって回答したが, 大井代議員は「藤木さんの講義に感銘を受けて入会した方, 杉山さんのセミナーを受けて手を挙げた方もいらっしゃると思う。藤木, 杉山頼りにするのではなく, もっと多くの方々にしていただければ願う」とした。

藤本代議員は, (予防歯科に関わる会に参加した折)「ヘルスケアに入りたんだけど, どんなことやってるの?」「ヘルスケアってどんなデータを基準にやってるの?」と聞かれた。「『ヘルスケアってこんなことやってるよ』と何かもっと(ホームページなどで簡単に)に伝わったらいいなと思う」と述べた。

また, 河野(正)代議員の「収支が110万円の赤字だったが, それに対して(執行部は)どのような評価をしているのか」という問いかけに対して, 高橋代表は「(必要なものについては)赤字になる催しについても, 取り組んでいる。セミナーなどは, 参加する人の負担をできるだけ抑えたい。黒字を出そうというより赤字にならないように, と考えている」と回答した。さらに, 河野(正)代議員が「Webセミナーは黒字傾向, リアルセミナーは赤字傾向」ということについて執行部の考えを求めたのに対し, 高橋代表は「Webとリアルバランスの取り方は難しい。実践セミナーの2022年第4期ではすべてWebで行い, 決算上は大きな黒字だったが, コミュニケーション不足という点で課題が残った。そのため今回はWebとリアルの組み合わせを考えた」と, Webとリアルバランスを模索中であるとした。



さらに河野（正）代議員は、「オピニオンメンバー会議や認証ミーティングの後にセミナーを開催するのが、ここ数年の定例になっているが、そのセミナーは赤字になっている。（オピニオンメンバーの出席を）セミナーで釣るのではなく、午後の時間を会員の交流の場にしてはどうか」と提案意見を述べた。これに対し高橋代表は「ぜひ、参考にしたい」と前向きな検討を約束した。

第2号議案の予算審議において、大井代議員は、ヘルスケアミーティングの参加費値上げ案について、「個別、今回のミーティングのみの（例外的措置か）」また「赤字のセミナーの参加費の値上げ」の意図について尋ねた。コアメンバーの渡辺勝さんは、実践セミナーの収支マイナスについて、「第4期が大きな黒字だったが、運営側の人数が不足したので、今回運営側を増員して体制を整えたところ第5期は参加者数が少なく、赤字となった。来期は参加者数が集まるまで開催を先送りにする」と説明した。事務局の秋元は、2024年のヘルスケアミーティングは広い会場で、また2日目はさらに2会場を借りるので、比較的安価な会場ではあるが会場費の負担が大きい。催しの企画主旨・内容によって参加費を設定したいとの説明があった。大井代議員は、①重ねてヘルスケアミーティングの参加費について、今後引き続き値上げの方針か、②各セミナー・イベントは収支バランスを考慮して参加費を引き上げるのか、と尋ねた。高橋代表および秋元は、①検討していない、②そのつど反省し、見直しを行うと回答した。

河野（正）代議員は、すべての議案の審議が終わった後に、まとめて質問したが、その四つ目の質問として、認証ミーティングの開催地について、申請者によっては「九州や北海道で開催をして、認証に興味がある方がスタッフみんなを連れて参加」しやすいうようにしてはどうか、と提案。これに対し、高橋代表は「地方開催も考えている」としたが、経費負担について確認を求められた事務局長の秋元は「基本的には地方開催のほうが（審査員の移動旅費のために）経費はかかる」とした。

さらに河野（正）代議員は、前回のオピニオンメンバー会議で、認証診療所のブランディング化が提案されたが、コアメンバー会議の議事録を見ると検討をしている様子がない。「これは、なんとなく立ち消えになっているのか」と質した。高橋代

表は、「ブランディング化のために5年定期管理成績を調べて公表し」という秋元提案について、（本日第3号議案で報告する）「臨床研究委員会で継続的に詰めていきたい」と回答した。

併せて、河野（正）代議員は、「コアメンバーを退任した方に何かポストを用意して処遇しようという提案」が継続審議になっているが、いかがかと尋ねたことに対して、高橋代表は「検討したい」と応えた。河野（正）代議員は、「コアメンバー会議の議事録が最近非常に簡便過ぎて、どんな議論をなされたのか、全く分からない」と苦言を呈し、その実例として①「ヘルスケアミーティング2023について」の反省、②歯科衛生士育成プログラムのインターンシップスタッフの旅費・交通費支給問題を挙げたが、これに対し高橋代表は、議事録の見直しを図る旨答えた。

第3号議案の組織改編審議について

認定分科会対策委員会が当初の目的を終えるので、その戦略的進化の機会として、委員会の再編を企画した。現在の認定分科会対策委員会は、臨床研究のこと、総説やセミナー講師選出や依頼、倫理委員会の整備まで担ってきた。その委員会を終える機会に役割を細分化して整備したい。また、この機会に委員会全体を見直して、改変をしようと考えた。

今回の委員会・プロジェクトの改変は、

- ・認定分科会対策委員会を2つのプロジェクトに分ける

- ① 臨床研究プロジェクト（高橋 啓）

- ② 総説・Webセミナープロジェクト（渡辺 勝）

ほか、コアメンバーの所掌を次のとおり変更する。

- ・ニューズレター委員会（田中正大）

- ・認証委員会（千草隆治）

- ・会誌委員会（千草隆治）

- ・頒布品委員会（丸山和久）

決算報告

2023年度の経常収益は23,152千円（前年比2,452千円増）、事業費用14,661千円（前年比5,188千円増）、管理費用9,601千円（前年比216千円増）の結果、収支差額マイナス1,110千円（前年比2,951千円減）となった。コロナ禍の影響で、深刻な赤

字決算（赤字額 4,055 千円）となった一昨年度に比べ、昨年度さらに今年度は、対面事業の復活で事業収益が増加したが、費用増がそれを上廻った。

本会の経常収入の柱はいうまでもなく受取会費であるが、会員数は若干減少し、受取会費合計は 9,732 千円（対前年度比 235 千円減）であった。

事業ごとに収支をみると、第 5 期実践セミナーは 1,015 千円の大幅な黒字となっているが、翌期に講師費用やオンライン配信費用など未払い費用を残している（2024 年度に 1,328 千円支払いを繰り越した）ので、実際は 104 千円のわずかな赤字会計となる。ほか、期内で収支が完結するスプリングセミナー（2023.3.12）、東京ワンデーセミナー（2023.6.25）、オータムセミナー（2023.10.15）で、それぞれ 135 千円、145 千円、213 千円の赤字会計となり、ヘルスケアミーティングとコミュニケーションセミナーのわずかな黒字を消した。期をまたぐ歯科衛生士育成基礎コースは、第 15 期は前期に払い込まれた受講料を今期に消化するかたちになっているため、東京会場（太陽歯科衛生士専門学校）がマイナス 957 千円、関西会場（神戸常盤大学）がマイナス 1,244 千円であるが、逆に第 16 期は 3,520 千円（160 千円×22 名）の受講料のうち 1,922 千円を支出したに留まる（歯科衛生士育成プログラム全体としての今期収支はマイナス 648 千円）。

これに対して Web セミナーは、カリエスマネジメント、歯科衛生士新人教育研修ほか有料セミナーすべてで利益を計上し、合計 339 千円の黒字となった。総じて、対面式のミーティングの参加者が期待に届かず、会場費・講師謝礼・交通費などの負担が大きくなったと総括される。

なお、事業収益のうち、企画商品（頒布品）の販売は 1,659 千円（前年比 291 千円増）とほぼ変わらなかった。管理費では、事務局費が若干増加しているが、これはインボイス制度の厳密化にともなって、秋編集事務所の請求に 10 月以降、消費税額が加算されるようになったためである。本会は、消費税については、今期は非課税団体の扱いを受けている。

2023 年度会計監査報告

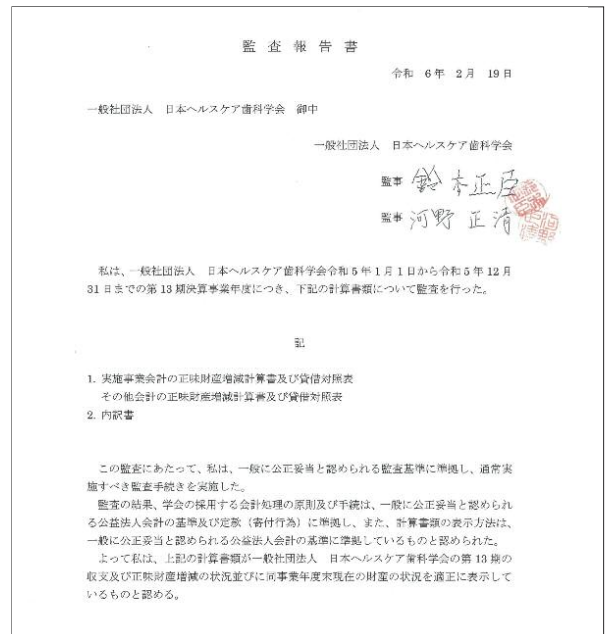
2024 年 2 月 19 日に事務局（三密を避けるため近隣の会議室を借りて）にて、税理士島田さゆりさん（島田会計事務所）の同席を得て、監事の鈴木正臣さん、河野正清さんにより監査を受けた。監査報告書を議案書末尾に添付。（文責：秋元秀俊）

前年度対比要約（資産・負債・正味財産）

	2023年度	2022年度	増減額
現預金	53,612,736	54,265,137	△ 652,401
未収金		0	0
前払金	29,315	247,000	△ 217,685
未収消費税等		0	0
棚卸資産	2,101,370	1,521,332	580,038
有形固定資産	5	5	0
リース資産	376,320	0	376,320
資産合計	56,119,746	56,033,474	86,272
未払金	3,790,744	2,915,257	875,487
前受金	0	0	0
預り金	34,252	26,000	8,252
前受会費	7,221,000	7,289,000	△ 68,000
前受入会金	49,000	37,000	12,000
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等		0	0
リース未払金	369,408	0	369,408
負債合計	11,534,404	10,337,257	1,197,147
正味財産	44,585,342	45,696,217	△ 1,110,875

前年度対比要約（収益・費用）

	2023年度	2022年度	増減額
受取入会金	328,000	352,000	△ 24,000
受取会費	9,732,000	9,967,000	△ 235,000
事業収益			0
企画商品販売収入	1,659,210	1,367,652	291,558
セミナー等収入	10,467,676	8,566,732	1,900,944
受取寄付金			0
雑収益	965,181	446,096	519,085
収益合計	23,152,067	20,699,480	2,452,587
事業費			0
事業原価	1,028,435	1,081,485	△ 53,050
事業経費	13,632,850	8,391,767	5,241,083
管理費	9,601,657	9,385,612	216,045
費用合計	24,262,942	18,858,864	5,404,078
当期正味財産増減額	△ 1,110,875	1,840,616	△ 2,951,491



事務局は平日（月～金）9:30～17:30 に在席しています。
 各種お問い合わせは、時間内をお願いします。メール、Fax は土・日・祝日も受け取れますが、返信は平日になります。ご了承ください。

ヘルスケア フォーラム

第16期 歯科衛生士育成プログラム

基礎コース 実技実習

2024年1月28日(日)・3月31日(日) 太陽歯科衛生士専門学校

実技実習第3回 (1月28日)

今回の実技実習では午前SRP実習、午後超音波スケーラーの実習を行いました。

SRP実習ではまず、SRPを行う前に歯石やCEJなどの情報を正確に読み取るために正しく根面探知し、感覚を掴むことを習いました。普段探知するときには歯石の存在を確認できても、形状や硬さを細部まで確認ができていなかったなと思いました。付着物によっては確認しづらいものもあるのでこれからは細かく探知していきたいです。また患者さんも術者にも負担なくSRPを行うためにはどうすればよいか考え、選択肢の幅を広げることが大事だと学びました。実際に相互実習では一生懸命になりすぎて手指に力が入ってしまう癖があることを知りました。それにより自身に負担がかかるだけでなく、患者さんにも余分な力が伝わり、不安につながっていたかもしれません。今回の実習でそのことに気づけたのが良かったです。

超音波スケーラーの実習では基礎知識を知り、歯肉縁上歯石の除去と歯肉縁下デブリメントの違いを知ることができました。相互実習ではピエゾ式のチップの側面、背面、内面、先端を空き缶にそれぞれ当て、音の響き方や振動、削られ方を知りました。正しくチップを当てないと歯面に大きく負担をかけ、傷つけてしまうことがよく分かる実習でした。正しく当てることで気持ちよく歯石除去

ができました。当て方ばかりではなく、目的に応じて水量やパワーを調節することで患者さんに負担を与えることのないよう気をつけたいです。また、当院ではピエゾ式とマグネット式の超音波スケーラーがあるのでそれぞれの良さを生かしながら必要に応じて使い分けていきたいです。

濱渡咲綾 (歯科衛生士・
酒向歯科医院)

実技実習第4回 最終回 (3月31日)

基礎コースを受講し、日々の業務である口腔内写真や歯周組織検査の自分自身の技術を見直すことができました。講師の方にアドバイスをいただいたことで、自分自身が基礎的なことを忘れていたことに気づくことができました。基礎コースを終えて、歯科衛生士として患者さんの口腔内を守るために知識や技術を学び続けることが大切だとあらためて感じました。

大澤伶実 (歯科衛生士・医療法人社団
蒼杉会さとうおゆき歯科医院)



歯科衛生士育成プログラム基礎コースの第4回目は検定がありました。口腔内写真撮影、歯周組織検査の検定でした。

はじめに口腔内写真撮影の検定から行いました。私は1グループ目で、すぐに撮影準備を始めました。練習ではうまく撮れていた口腔内写真も、本番となると緊張して手が震えたり、ミラーをうまく口腔内に入れることができず、かなり焦りました。検定の10分間がものすごく短く感じました。

歯周組織検査の検定も1グループ目でした。歯周組織検査は得意ではなく、普段からスタッフの口を借りてプローブの持ち方、ミラー操作ウォーキングプローブなどの練習を行ってきました。検定が始まると、最初はうまくプロービングできていたのにも関わらず、一度引っかかった途端、うまく操作することができず全力を出しきれませんでした。検定終了後、基礎コースで仲良くなったメンバーと昼食を取りながら検定の振り返りをしたりアドバイスをもらいました。

午後はCRASPの実習と検定の発表でした。CRASPの実習では歯科衛生士役と患者役で2人ペアになり、CRASPで



の間診を行ったり、設定された患者さんになりきって受け答えをしました。ペアの受講生の方から患者さんの情報を引き出す方法などを教えてもらい勉強になりました。

今回の基礎コースに参加したことで、知らなかったことをたくさん知ることができました。学んだことを診療で生かし、苦手を克服してまた検定にチャレンジしたいと思います。

久高優花（歯科衛生士・
あめみや歯科医院）



スプリングセミナー

2024年3月10日(日) AP 浜松町 & Zoom

2ミリリットルのアンプルに 込められた思い



高澤淳仁（志木市開業）

今回はCRASPに採用されている蝕活動性試験CAT21（カリオスタット）について開発者である岡山大学名誉教授の下野勉先生をお招きして「CAT21 テストの開発から臨床応用—これからの展望」と

いうタイトルでご講演をいただいた。

冒頭で副代表の杉山精一さんから企画趣旨説明として蝕の病因論の変遷、当会でのカリオグラムからCRASPへのシフト、CAT21採用にいたる経緯、現代のカリエスリスクアセスメントに求められる要件について、2016年の当会からの「カリエスリスク・アセスメントについての見解」にも触れ、整理・解説された。

下野先生の講演では、半世紀前の若き日にたちあげたばかりの大阪大学歯学部小児歯科での奮闘のお話があり、来る日も来る日も外来に来院する子どもたちと汗まみれになって臨床をしながら、夜は細菌学講座で結核菌研究に取り組まれたこと、実験の失敗から連鎖球菌の選択培地のヒントを得たこと、そこから念願のむし菌菌の研究が始まったという裏話が

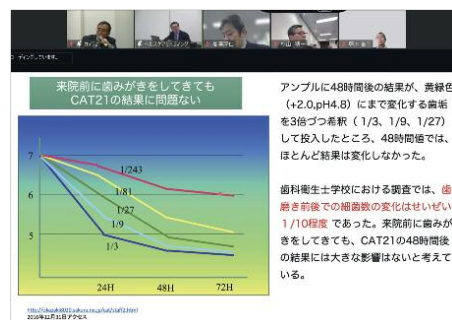
あった。「子どもたちのむし菌をなんとか減らしたい」という強い思いから、臨床、研究、教育と、まさに寝る間も惜しんで取り組んでいらした姿を想像することができた。

臨床家としての問題意識と強い信念を持ちながら緻密な実験、研究、試作の積み重ねにより苦勞して商品化にたどりついたことを知った。その後、海外での研究、発表などを経て国際的にも評価され、岡山大学に赴任された後も研究を重ね、国内外で採用されていること、さらに長年にわたり臨床研究を継続しながら多くの留学生に研究の場を提供し、その後、母国でも歯科保健活動で活躍されていることをご紹介いただいた。

また、CATから得られた数値と照らして患者さんに適切に行動変容をうながし定期健診をしながら経過をモニタリングしていくことでリスクコントロールしていくことがその後の良好な結果をもたらしていることをたくさんの長期症例で示された。

まさに私たちヘルスケア歯科学会が目指す歯科医療そのものであった。また現在も現役で臨床に携わってらっしゃること、今も自宅に実験室に作り研究に取り組まれているという飽くなき探求心を知り感服した。

会員の千草隆治さんからは高齢者と小



児の患者さんについて長期経過の紹介があり、CRASPを用いて主に甘味摂取とCAT21の結果と照らして時間軸でのリスク評価に役立っていることの発表があった。CATの結果が実際の症例における現状の把握の意味合いで使用していること、また複数回利用していくことは予測にもつながる可能性があるのではないかと考察された。

私もそうだが、う蝕の発症リスクを予測するための手段という意味において、検体を用いる検査自体の必要性、費用対効果に疑問を持っている方も少なからずいると思う。現状の口腔内のカリエスリ

スクは問診、視診から得た情報からある程度可能であることから、そのような検査は必須ではないとして採用されない方も少なからずいると思う。一方でカリエスリスクを患者さんに説明して共通の問題として把握する際には数値や視覚的にわかりやすい指標はインパクトがあり理解を得られやすいことも事実である。私たち臨床家としては変化するカリエスリスクを長期的にモニタリングしながら適切にコントロールするという観点からくり返してリスク評価することが求められるため、簡便で安価であり臨床感覚とほぼ一致する結果を示してくれる検体検査はカリエスリスク評価を客観的に裏付け、あるいは補完するものであると思われる。またスクリーニング検査としてハイリスク患者を見落とさないという使用方法もできるのではないかと。今回のセミナーを通して、検体検査を使用することの意義を整理し、その必要性を再確認することができた。



今になってセミナー当日を振り返ると、「2ミリリットルという小さなアンプル」を覗き込みながら下野先生の歯科医師としての半世紀を追体験させていただいたかのような不思議な感覚になる。また「そこに込められた思い」を私たちにしっかりと伝えてくださったと感じている。あの小さなアンプルを見るたびに下野先生のお顔が浮かんできそうですが、私のみならず当日お話を聞いた方は、その思いを受け継いで日々の臨床に取り組んでいこうと心を新たにされたのではないのでしょうか。



セミナー当日、下野先生が受講者から集めたアンプル

いつでも・どこでも！ 一人でも・グループでも！

好評配信中！ **カリエスマネジメントセミナー（全7回）2022**

講師：杉山精一（日本ヘルスケア歯科学会 副代表・CRASP 開発者）

vimeo オンデマンドで e-Learning

杉山精一さんによる「カリエスマネジメントセミナー全7回」がオンデマンド配信（レンタル）でいつでも受講できます。院内勉強会にぴったりです。

対象：会員・非会員問わずカリエスマネジメントを学びたい方
 受講料：シリーズレンタル（全7回）1年間レンタル 10,000円
 エピソードレンタル（1回）30日レンタル 2,000円



パソコン・タブレット、スマートフォンに対応

※詳細は学会ホームページをご参照ください

雑誌掲載

一般開業歯科医院における長期的メンテナンスの成果

伊藤 中

日本歯科医師会雑誌 2月号 p.4-13

ゼロからわかる むし歯の予防&治療

伊藤 中他

File 9 子どもの歯を守るには① セルフケア編
nico 3月号 p.22-25 クインテッセンス出版

File 10 子どもの歯を守るには② シーラント編
nico 4月号 p.20-23 クインテッセンス出版

「お気をつけて、ご来院を」～歯医者さんの受付日誌～

高橋 啓 (ペンネーム：坂本慎太郎)

第3回 予防歯科の先にあるもの

nico 3月号 p.47-49 クインテッセンス出版

第4回 妊娠中の歯科受診

nico 4月号 p.47-49 クインテッセンス出版

予防の常識・非常識

藤木省三

nico 3月号, 4月号 p.60-61 クインテッセンス出版

座談会 自家歯牙移植の現在地と未来

いま、あらためてその可能性を考える

泉 英之他

ザ・クインテッセンス 4月号 p.32-54 クインテッセンス出版

あるあるトークでふりかえる DH 臨床のエラー

落合真理子 他

③メンテナンス患者さんの口腔衛生状態が悪いと言われた

歯科衛生士 3月号 p.46-49 クインテッセンス出版

④メンテナンス患者さんのう蝕を見落とした

歯科衛生士 4月号 p.42-46 クインテッセンス出版

先輩 10人に聞いてみました！ すぐに使える新人教育のくふう

新人と教育担当の両方が育つように導く

奥山洋実

歯科衛生士 4月号 p.25 クインテッセンス出版

早期発見がカギになる 根面う蝕のマネジメント

久保至誠

歯科衛生士 4月号 p.48-59 クインテッセンス出版

真の歯科対応に期待する—地域が患者が求める歯科訪問診療

「他職種から物申す、歯科から物申す」改め「真の歯科対応に期待する」—2023 全国訪問歯科研究会米子大会・鳥取県医療介護他職種連携研修会を企画・開催して

足立 融

日本歯科評論 4月号 p.54-55 ヒョーロン・パブリッシャーズ

HYORON Book Review 私のおすすめの一冊！

『再石灰化と重症化予防を目指す歯冠う蝕のマネジメント』

杉山精一

日本歯科評論 4月号 p.96 ヒョーロン・パブリッシャーズ

〇〇で悩む先生に伝えたい自由診療の幸福論！

自由診療歯科医院を成功させる鍵

高山祐輔 他

デンタルダイヤモンド 3月号 p.118-120 デンタルダイヤモンド社

Our place! 私が患者さんと出会う場所 川嶋歯科医院

川嶋 剛, 林 裕美

デンタルハイジーン 4月号 p.348-350 医歯薬出版

歯科の DX の現在

DX を取り入れてこんなに変わりました！

金尾 晃 他

小児歯科臨床 4月号 p.18-28 東京臨床出版

書籍

歯医者は医者かと問う勿れ

秋元秀俊

生活の医療社



ヘルスケア歯科診療だからこそ必要な

コミュニケーションセミナー プレミーティングinオンライン

受付中

2024年5月15日, 6月19日 毎月第3水曜日 20:00 ~ Zoom ミーティング

対象：歯科医療従事者ならどなたでも 定員：100名 参加費：無料・要登録



9月23日(月祝)にリアル開催の「コミュニケーションセミナー」は、ロールプレイを中心とした参加型セミナーですが、どんなものか興味のある方のためにオンラインでプレミーティングを開催しています。

ヘルスケア歯科診療や、チームビルディングに必要なコミュニケーションの tips を渡辺 勝がわかりやすく

レクチャーします。各回はテーマを変えた独立したものにしますので、ご興味のある回のみでの参加も可能です。ブレイクアウトルーム(少人数の班分け)を利用しますので、顔出し、声出し可能な場所でご参加ください。



第 17 期生 (2024 年度) 募集のご案内

当学会の主軸活動の一つである歯科衛生士育成プログラムも第 16 期が終了しました。

このプログラムを経て、認定歯科衛生士になられた会員が今年 200 名を超え、臨床の現場で活躍されています。第 17 期基礎コースは実習日 4 回と Zoom による実習や検定の補足講義と質疑応答を平日夜に 3 回行い、実習内容の理解を深め検定へ向け不安なく十分な準備ができるようにサポートしていきます。またランチ時間等を利用して参加受講生が修了後もスタッフや受講生同士のつながりができるような機会も設け、ただ学ぶだけ、資格を取るだけではないコースになっています。

スタッフ一同、ヘルスケア歯科学会の掲げる「ヘルスケア歯科診療」を担う歯科衛生士の育成に全力で当たらせていただきます。(田中正大)

申込期間：2024 年 5 月 22 日 (水) 10:00 ～ 6 月 9 日 (日)

学会ホームページよりお申し込みください。申込み多数の場合は抽選となります。



基礎コース 日程などの詳細は学会ホームページで 5 月 15 日に発表します

内 容：講義・実習講義・相互実習および検定

講 義：オンライン配信（配信期間内に各自視聴学習、配信期間は別途案内します）

実 習：神戸常盤大学（兵庫・神戸）

定 員：20 名（最少催行人数 10 名）

受講資格：学会正会員（各診療所からの申込みは 1 名のみ、ただし定員に満たない場合に限り複数名の申込みを受け付ける場合もあります、入会は抽選結果後でも可）

e-mail と LINE で連絡がとれること

臨床経験 1 年以上

受講費：160,000 円／歯科衛生士 1 名

認定歯科衛生士実技検定会・再検定

関東：埼玉県川口市 田中歯科クリニック 2024 年 7 月 7 日 (日)

関西：兵庫県神戸市 その歯科クリニック 2024 年 7 月 28 日 (日)

受検料：初回 1 日 30,000 円・再検定 1 科目 10,000 円

定員：各回 6 名（最少催行人数 4 名）

※認定歯科衛生士資格取得条件は学会ホームページを参照ください。

院長の責務：ヘルスケア歯科衛生士がその能力を発揮するには、歯科衛生士の個人的能力によるものと、医院のシステムや院長のコンセプトによるものがあるので、育成基礎コースを受講する歯科衛生士が勤務する診療所の院長は、日本ヘルスケア歯科学会主催のワンデーセミナー等に参加経験を有することが望ましい。



認定歯科衛生士のみなさまへ

「認定歯科衛生士 取得ポイントのお知らせ」「認定歯科衛生士 更新のお知らせ」を対象の方に同封いたしました。申請された方で、取得ポイントに誤りがあった場合や、お知らせが同封されていない方は、事務局までご連絡をお願いします。また、「ポイント申告書」を未提出の方は受付いたしますので、ご提出ください。

メインテーマ

歯周基本治療からはじまるヘルスケア歯科診療

2024年10月13-14日(日・月祝) 13日12:30~18:00 14日9:15~15:00(予定)

一橋大学一橋講堂+中会議室(東京都千代田区)・一部オンライン(Zoom ウェビナー)

企画趣旨 歯周病の治療とメンテナンスを確実にに行えるようになることはヘルスケア歯科診療には不可欠であり、避けて通れない道であると同時に、診療所にヘルスケア歯科診療を定着させる近道でもあります。本学会では診療のスタイルを1つのかたちに規定することを避け、多様性を受け入れてきましたが、基礎的な部分に関しては目標となるロールモデルが必要です。今回は、会の発足当時から繰り返しヘルスケア診療を発信し、

また自らも常に成長し続けている藤木省三さんの診療所、大西歯科で実践されている歯周治療を目標として学び、それをもとに今何をすべきかみんなで考えましょう。

ヘルスケア診療を知ったばかりで、どこから手をつければいいかわからない人も、一度挫折して再チャレンジを躊躇している人も、頑張っ取り組んでいるのになぜか成果が出ない人も必ず答えやヒントが見つかるはずです。

● Day 1 歯周基本治療からはじまるヘルスケア歯科診療 12:30~18:00(予定)

趣旨説明：千草隆治

基調講演：藤木省三

X線撮影について：滝沢江太郎

口腔内規格写真：大本幸加

歯周組織検査：志摩裕美

歯周基本治療のポイント(ケースプレゼンテーション)：野村朱美

グループワーク

質疑応答・総括



● Day 2 あっちもこっちもヘルスケア 9:15~15:00(予定)

A会場	
午前	ヘルスケア きほんのき 高橋 啓, たかはし歯科スタッフ みんなの医院, みんなで医院づくり 斉藤 仁 ほか
午後	ヘルスケアとDX 中本知之, 安岡大介 ほか

B会場	
午前	ホームデンティスト・プロフェッショナル 番外編 岡 賢二, 藤木省三 ヘルスケア歯科衛生士から(症例発表を中心に) 未定
午後	UP-SRP(ヘルスケア型低侵襲SRP)とは 藤木省三, 野村朱美

ヘルスケアミーティング2024 ポスター発表 募集!

申込み締切：2024年7月31日

カテゴリー1 ペリオ症例発表

カテゴリー2 ヘルスケア歯科診療のことならなんでも(自院の取り組みや症例発表など)

演題について：発表申請方法

ポスター発表を予定する方は、件名を「HCM2024 ポスター発表」として事務局(center@healthcare.gr.jp)宛に、①演題と②発表者名をメールでご連絡ください。

筆頭発表者は会員に限ります。筆頭発表者名で申込みください。

その他

ポスター発表は、2日目の決まった時間に1名がポスター前に立ち、質疑応答の交流時間を設けます。発表者はなるべく会場にご参加ください。

ポスターサイズ、抄録について

サイズ：幅90×縦180cm以内(サイズご注意ください)

詳細については、決まり次第ご案内します。

認証ミーティング(第21回)

2024年11月17日(日)開催地：未定

認証診療所とはこの「健康を守り育てる歯科医療」を「それを望む患者さんすべてに対して」、「実践している診療所」です。

認証を希望する診療所は、年1回開催する認証ミーティングでプレゼンテーションを行います。外部審査員を含む審査で患者中心の診療所づくりを重視します。

日程が変更になりました

■ 認証審査エントリー診療所

ワコ歯科・矯正歯科クリニック(神奈川県)

はら歯科クリニック(福岡県)

医)恒誠会 ミライノデンタルクリニック(兵庫県)

■ 外部審査員 未定

※詳細は次号ニュースレターにてお知らせします。